

Jミルクが2021年10月1日に公表した「需給見通し(※2021年7月迄実績)」の予測値とその後の実績をグラフ化しています。

「牛乳乳製品統計(農林水産省)」の公表に併せて、今後も毎月配信していきます。

発行：一般社団法人Jミルク生産流通グループ

《年末年始は牛乳消費UP ～コロナの感染拡大で今後の消費動向は不透明～》

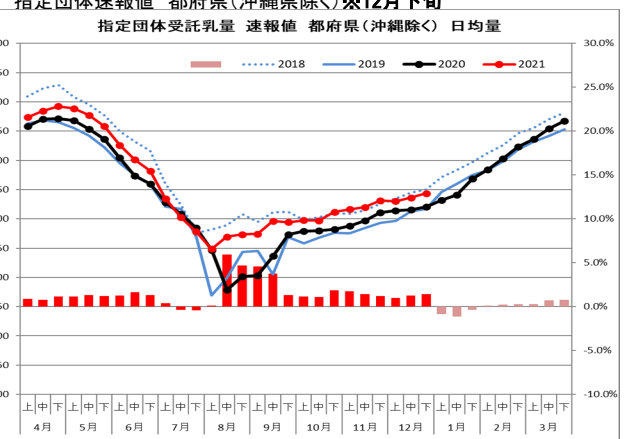
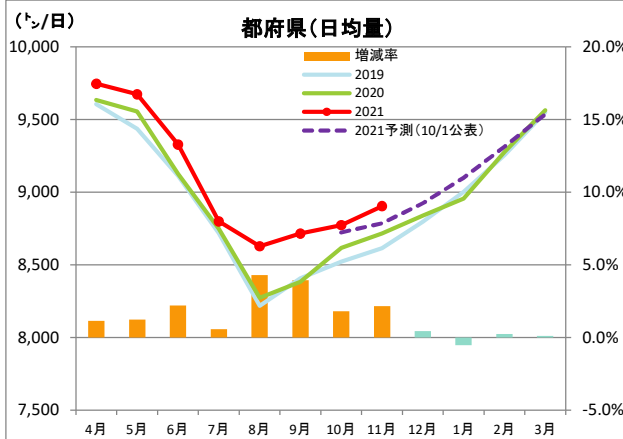
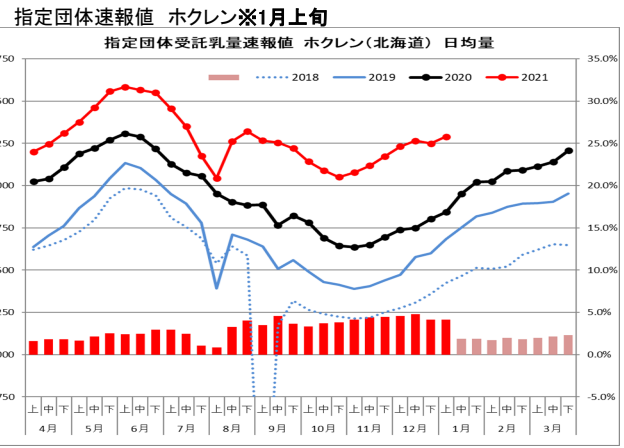
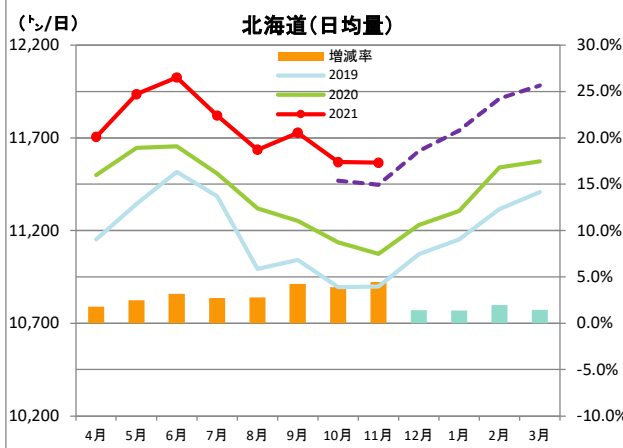
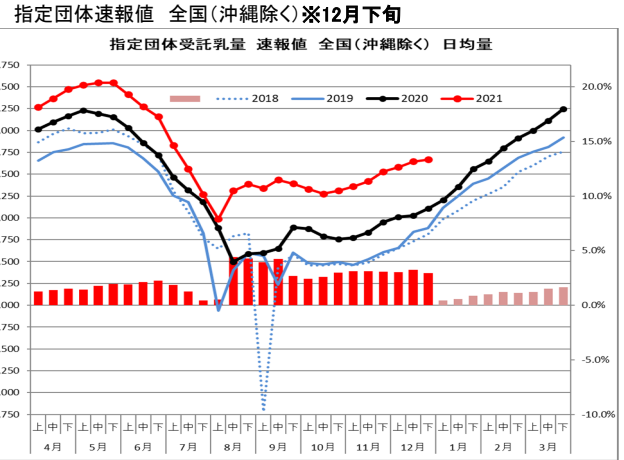
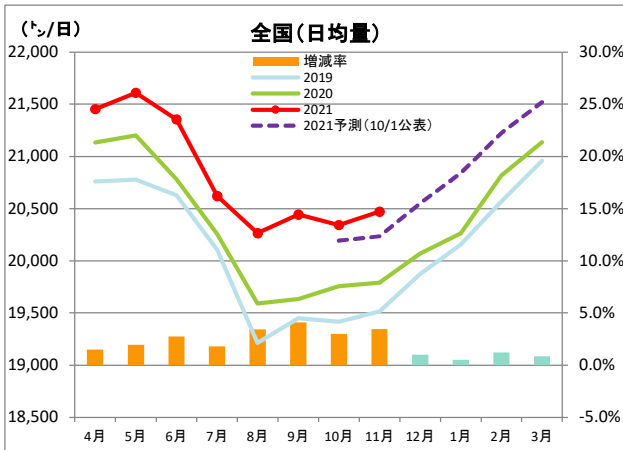
- ・11月の需給実績について、生乳生産は北海道・都府県ともに予測を上振れして好調に推移したが、飲用需要については、引き続き前年を下回っており、脱脂粉乳・バター等向の処理量は前年より大きく増加した。
- ・12月の牛乳販売動向(インテージSRI+実績:前年比95.3%、Jミルク予測(牛乳業務用以外):前年比99.8%)については、牛乳乳製品統計(12月実績は1月下旬公表予定)が高めに出る傾向にあることを踏まえると、予測値前後で推移している可能性が高いと推察される。
- ・直近(1/3週)の牛乳類の家庭内消費については、前年を下回っているものの、19年比では牛乳類で103.0%、牛乳で105.7%という水準であったことから、年末(12/27週)と同様に業界での消費拡大の取り組みや報道等による好影響があったものと推察される。
- ・コロナの急速な感染再拡大によって、業務用製品や学乳の消費への影響が懸念されるものの、年末年始に醸成された業界への応援機運を追い風に引き続き需要拡大に努めてゆくことが重要となる。
- ・また、例年より厳しい需給緩和が想定される年度末以降に向けて、需要拡大はもちろんのこと、乳製品処理の最大化等の対応について準備を進めてゆく必要がある。

【生乳生産量】※増減率は、日均量で算出。

(1)11月の生乳生産量は、全国614千ト(前年同月比103.4%)、北海道347千ト(同104.4%)、都府県267千ト(同102.2%)。

(2)Jミルク予測値(全国:607千ト、北海道:343千ト、都府県264千ト)から北海道・都府県ともに上振れして推移している。

(3)直近の指定団体速報値によると、全国が同102.9%(12月下旬)、北海道が同104.1%(1月上旬)、都府県(沖縄除く)が同101.4%(12月下旬)。



【牛乳等生産量】※増減率は、日均量で算出。

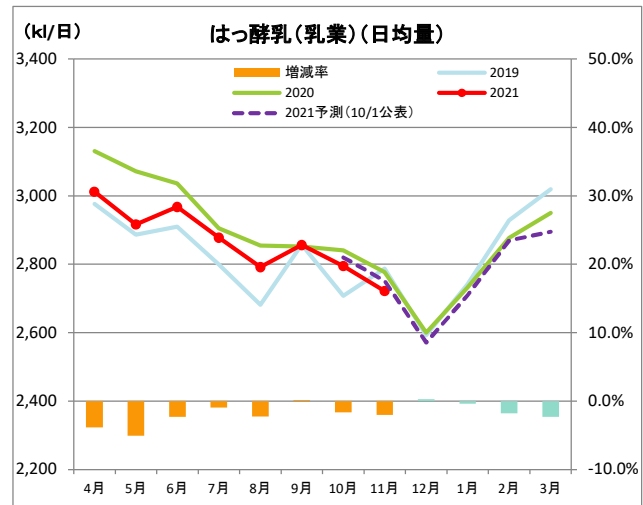
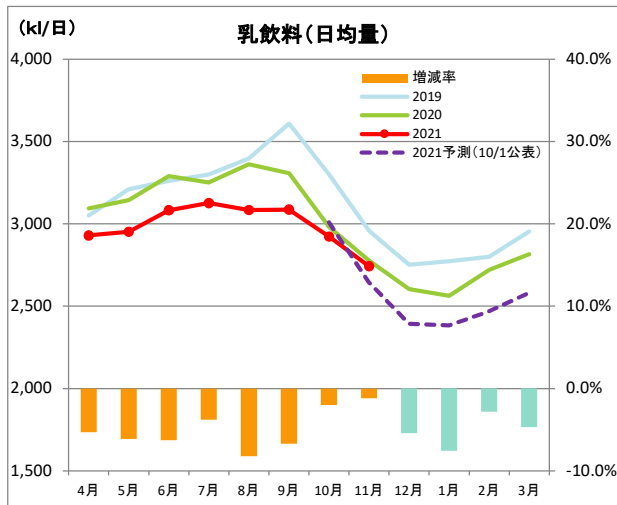
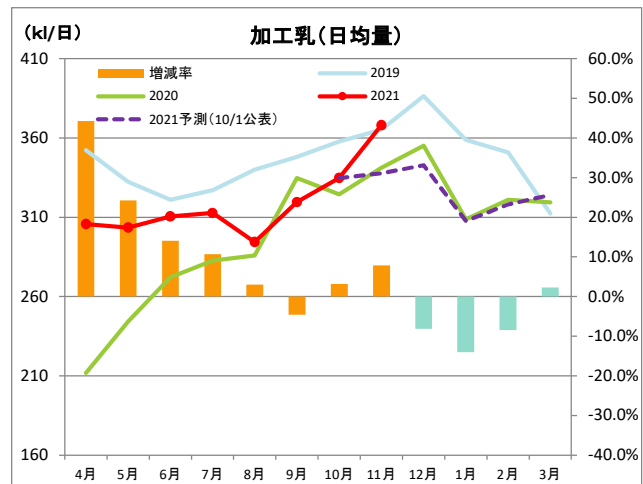
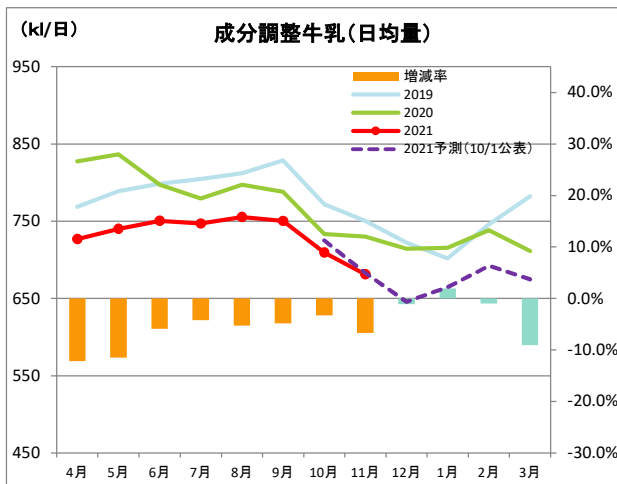
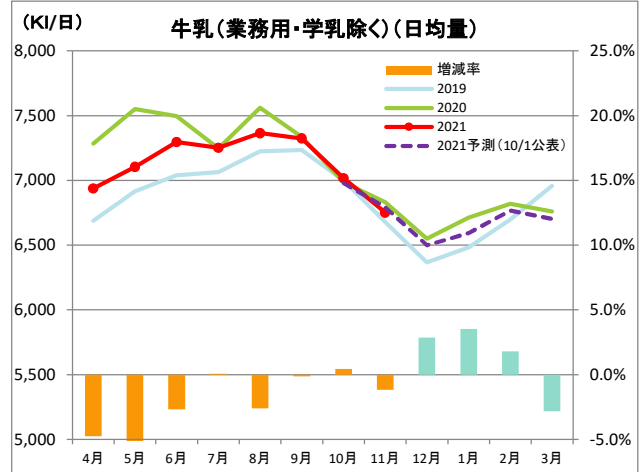
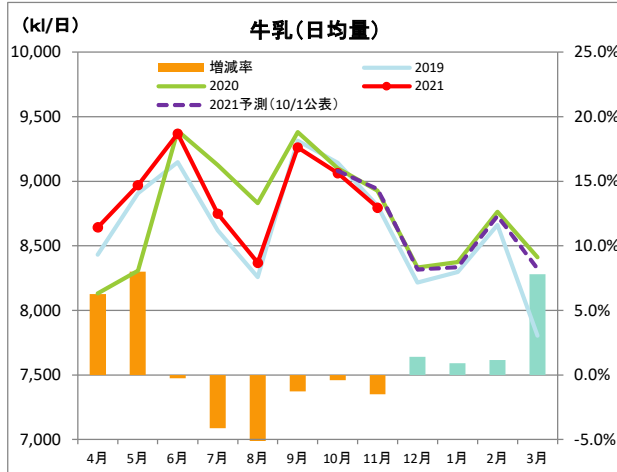
(1) 11月の牛乳等生産量は、牛乳264千kl(前年同月比98.5%)、成分調整牛乳20千kl(同93.3%)、加工乳11千kl(同107.6%)、乳飲料82千kl(同98.8%)となり、牛乳類合計では378千kl(同98.5%)となった。

なお、予測との比較では、加工乳は大きく上振れしている。

(2) 「牛乳」のうち、「業務用以外」は、同98.8%、「業務用」は同93.9%。

(3) はっ酵乳(乳業)は82千kl(同98.0%)と前年を下回って推移している。

また、非乳業実績(10月)については、同99.3%と前年を若干下回って推移している。

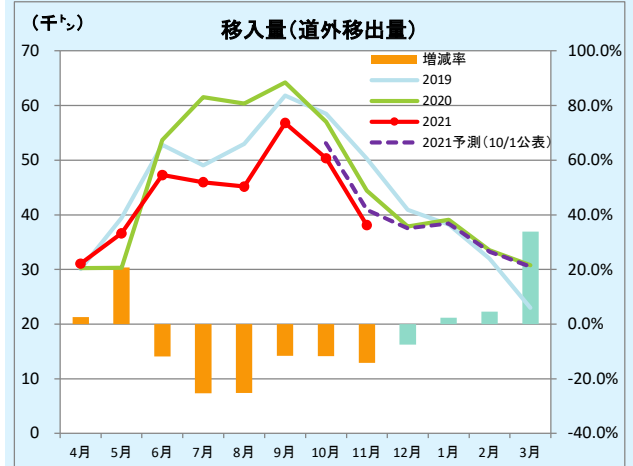
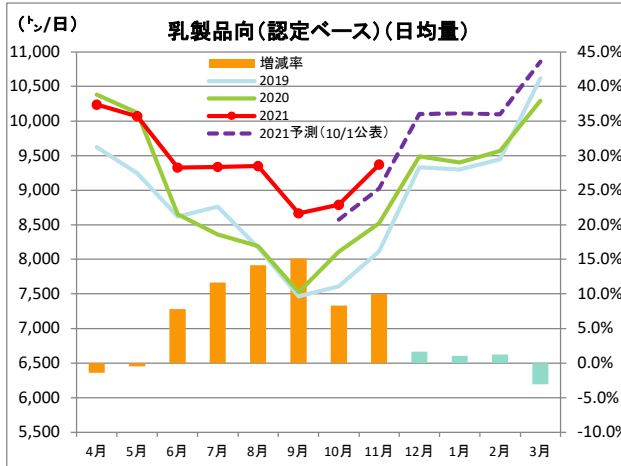
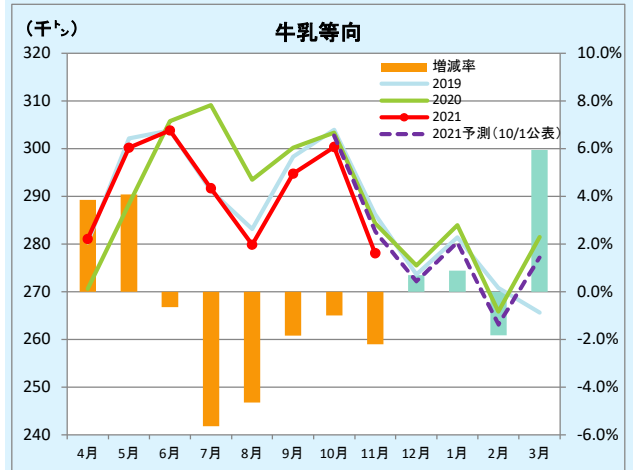
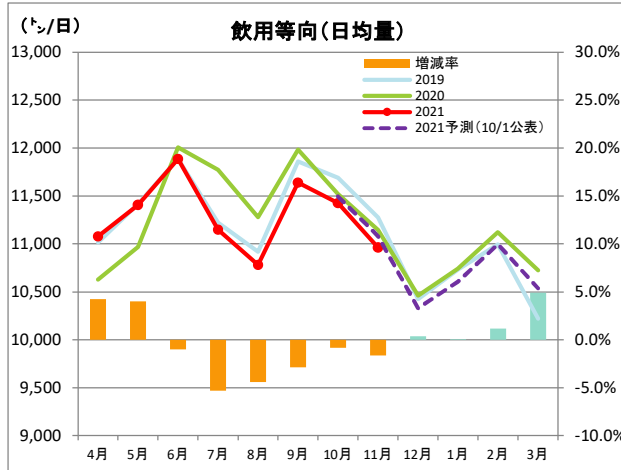
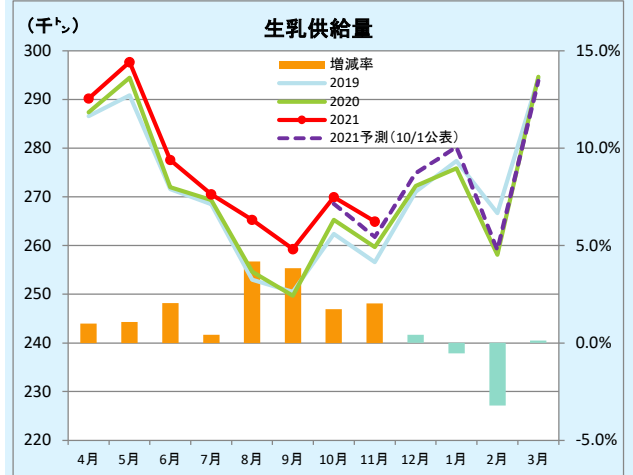
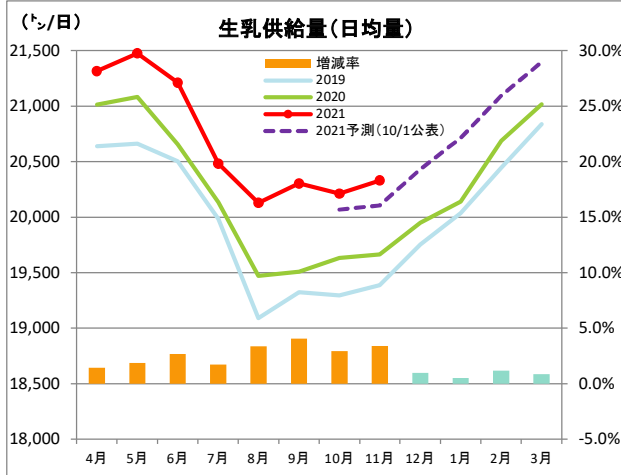


【用途別処理量】※増減率は、日均量で算出。

(1) 11月の生乳供給量は610千ト(前年同月比103.4%)、飲用等向329千ト(同98.4%)、乳製品向(認定ベース)281千ト(同110.0%)。
 (2) 予測値との比較では、飲用等向(予測値:332千ト)は同程度、生乳供給量(予測値:603千ト)と乳製品向(予測値:270千ト)は上振れで推移している。

【都府県の生乳需給】

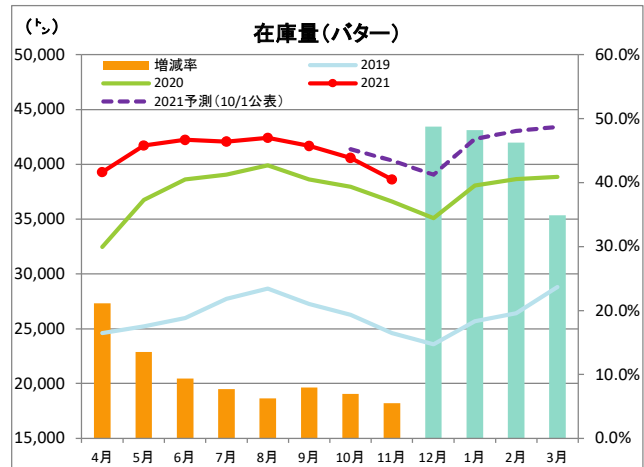
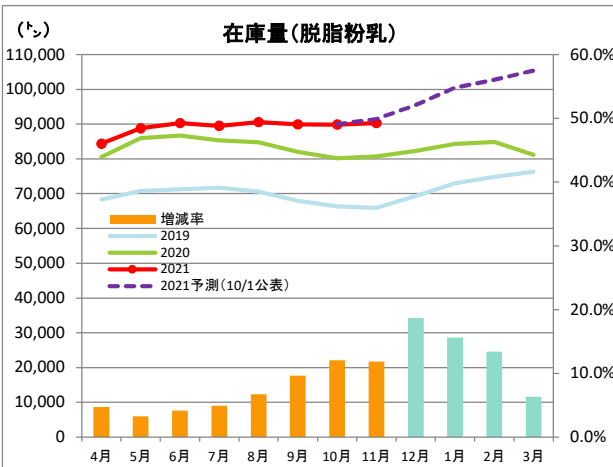
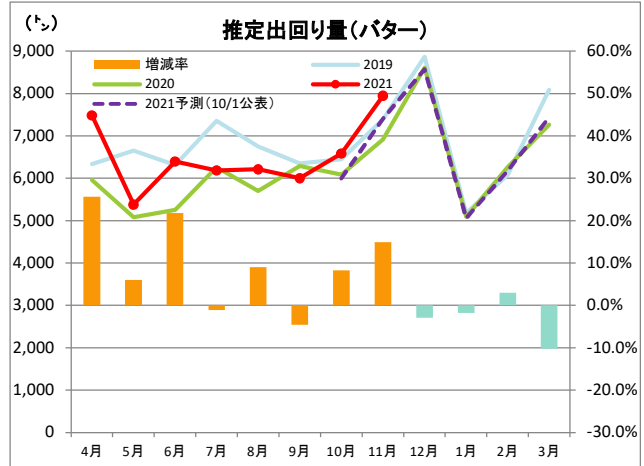
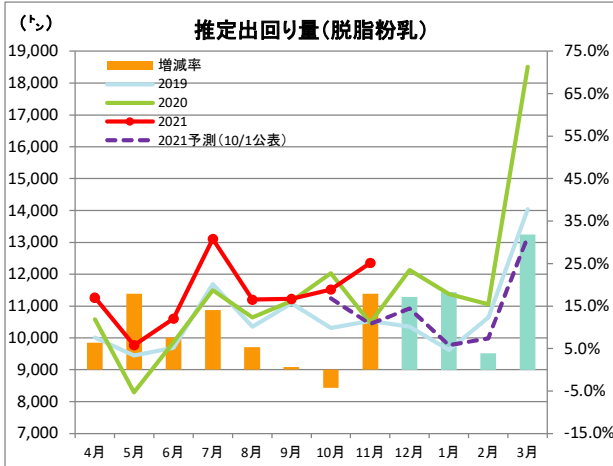
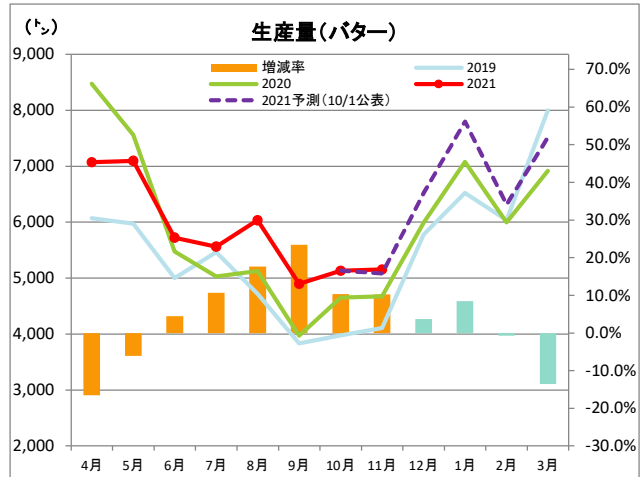
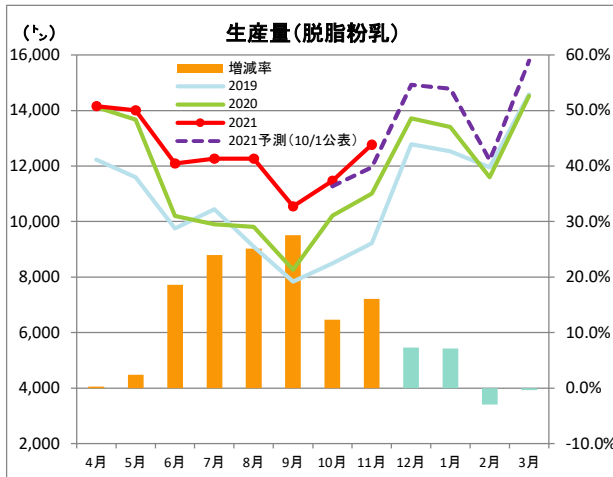
(1) 11月は、生乳供給量265千ト(前年同月比102.0%)、牛乳等向278千ト(同97.8%)。
 (2) 北海道からの移入量について、38千ト(同85.8%)と前年大きく下回った。
 (3) 予測値との比較では、生乳供給量(予測値:262千ト)は若干上振れ、牛乳等向(予測値:283千ト)、北海道からの移入量(予測値:41千ト)は下振れで推移している。



【脱脂粉乳・バター需給】

(1) 脱脂粉乳は、11月の生産量は12.8千 t （前年同月比116.1%）、推定出回り量は12.3千 t （同117.9%）、その結果、在庫量は90.3千 t （同111.9%）。推定出回り量（≒需要量）は前年を大きく上回った。
 なお、予測値との比較では、推定出回り量（予測値：10.4千 t ）は上振れして推移している。

(2) バターは、11月の生産量は5.2千 t （同110.2%）、推定出回り量は7.9千 t （同114.9%）、その結果、在庫量は38.6千 t （同105.5%）。推定出回り量（≒需要量）は前年を大きく上回った。
 なお、予測値との比較では、推定出回り量（予測値：7.4千 t ）は上振れして推移している。



【牛乳類の販売速報(推定値): インテージSRI+】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

(1)12月の動向(表①参照)

・販売個数は、牛乳:前年同月比95.7%、成分調整牛乳:同92.8%、加工乳:同100.1%、乳飲料:同90.6%。
牛乳類では同94.8%

【参考】2019年度比…牛乳:100.7%、成分調整牛乳:96.6%、加工乳:94.6%、乳飲料:89.8%(牛乳類トータル:98.6%)

・販売単価は、牛乳:189.7円、成分調整牛乳:172.8円、加工乳:191.1円、乳飲料:150.9円。

(2)直近の週次動向(表②・グラフ参照)

・直近(1/3週)の販売個数は、牛乳:前年同期比95.3%、成分調整牛乳:同91.8%、加工乳:同96.7%、乳飲料:同90.0%。
牛乳類トータルでは同94.3%

【参考】2019年度比…牛乳:105.7%、成分調整牛乳:97.9%、加工乳:99.0%、乳飲料:93.3%(牛乳類トータル:103.0%)

・販売単価は、牛乳:190.9円、成分調整牛乳:174.3円、加工乳:191.9円、乳飲料:150.7円。

※出典 (株)インテージSRI+週データ。販売本数、販売単価(税抜)については推定値。データ転用はご遠慮下さい。

【表① 牛乳類の月別販売動向】

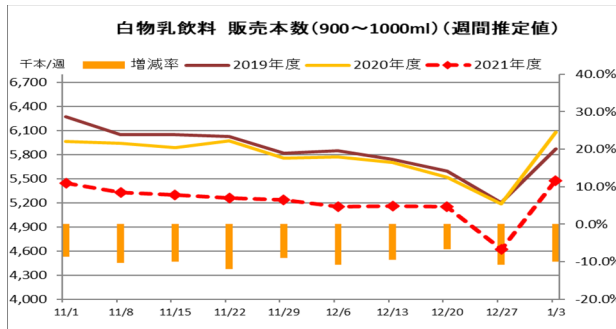
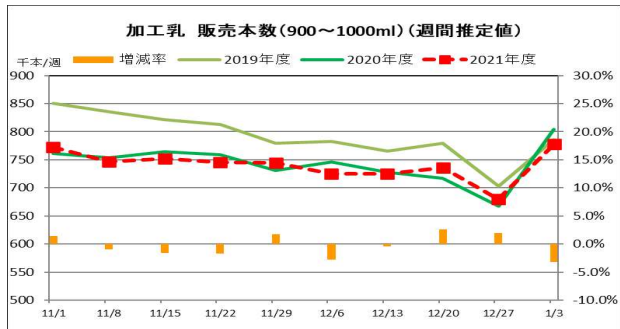
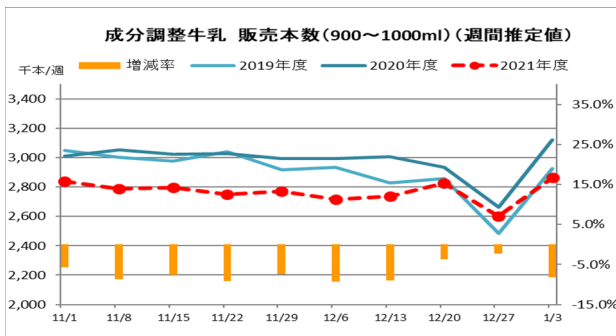
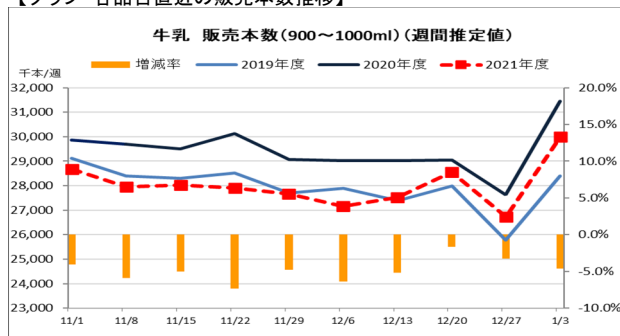
単位:千個、円

品目	区分	2021/8-	2021/9-	2021/10-	2021/11-	2021/12-
		販売個数	193,843	179,996	174,398	158,264
トータル	販売個数前年比	94.6	95.9	97.1	93.1	94.8
	販売単価	183.5	182.9	182.7	182.3	183.0
牛乳	販売個数	147,756	136,745	132,568	120,235	126,006
	販売個数前年比	95.5	97.7	98.0	93.8	95.7
成分調整牛乳	販売個数	14,478	13,642	13,065	11,987	12,509
	販売個数前年比	98.2	96.4	96.2	92.2	92.8
加工乳	販売個数	3,958	3,676	3,576	3,236	3,301
	販売個数前年比	97.2	94.6	102.7	99.0	100.1
乳飲料	販売個数	27,651	25,934	25,190	22,804	23,125
	販売個数前年比	88.2	87.0	92.4	89.2	90.6
	販売単価	150.7	150.4	150.0	149.9	150.9

【表② 牛乳類の販売動向(直近の週次動向)】

品目	区分	11.15-	11.22-	11.29-	12.6-	12.13-	12.20-	12.27-	1.3-
		販売個数	36,859	36,669	36,410	35,760	36,140	37,281	34,634
トータル	販売個数前年比	94.1	92.0	94.5	92.8	94.0	97.5	95.8	94.3
	販売単価	182.3	182.4	182.3	182.4	182.6	183.2	184.9	184.1
牛乳	販売個数	28,016	27,913	27,664	27,171	27,516	28,563	26,732	29,996
	販売個数前年比	95.0	92.7	95.2	93.6	94.8	98.3	96.7	95.3
成分調整牛乳	販売個数	2,795	2,752	2,770	2,714	2,737	2,828	2,600	2,866
	販売個数前年比	92.4	90.9	92.5	90.7	91.0	96.3	97.7	91.8
加工乳	販売個数	752	746	744	725	725	736	680	778
	販売個数前年比	98.4	98.2	101.8	97.1	99.6	102.7	101.9	96.7
乳飲料	販売個数	5,296	5,257	5,233	5,151	5,163	5,153	4,622	5,472
	販売個数前年比	90.0	88.1	91.0	89.2	90.5	93.4	89.1	90.0
	販売単価	149.8	150.0	150.1	149.9	150.4	151.2	152.7	150.7

【グラフ 各品目直近の販売本数推移】



【ヨーグルト類の販売速報(推定値):(一社)Jミルク調べ】


(1)直近の週次動向(表③参照)


直近(1/3週)の販売個数は、ドリンクタイプ(90~250ml):前年同期比90%未満、個食タイプ(70~130ml):同90%以上、大容量タイプ(350~500ml):同90%以上。


(2)ドリンクタイプは前年からの減少幅が拡大した。


【表③ ヨーグルト類の販売動向】


品目	11.15-	11.22-	11.29-	12.6-	12.13-	12.20-	12.27-	1.3-
ドリンクタイプ	👉	👉	👉	👉	👉	👉	👉	👇
個食タイプ	👉	👉	👉	👉	👉	👉	👉	👉
大容量タイプ	👉	👉	👉	👉	👉	👉	👉	👉


 : 前年比90%未満

 : 前年比105%以上110%未満

 : 前年比90%以上100%未満

 : 前年比110%以上120%未満

 : 前年比100%以上105%未満

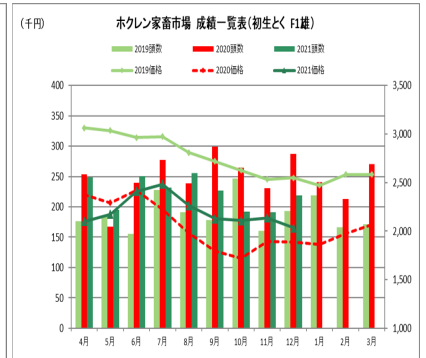
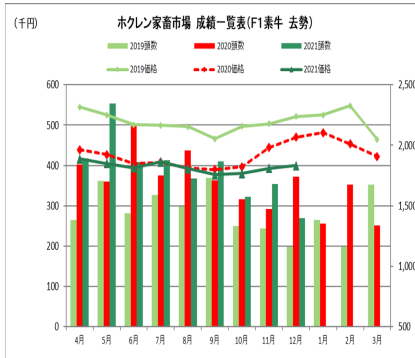
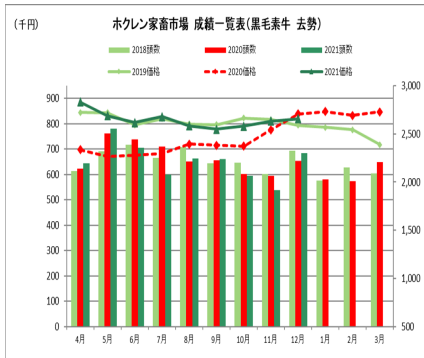
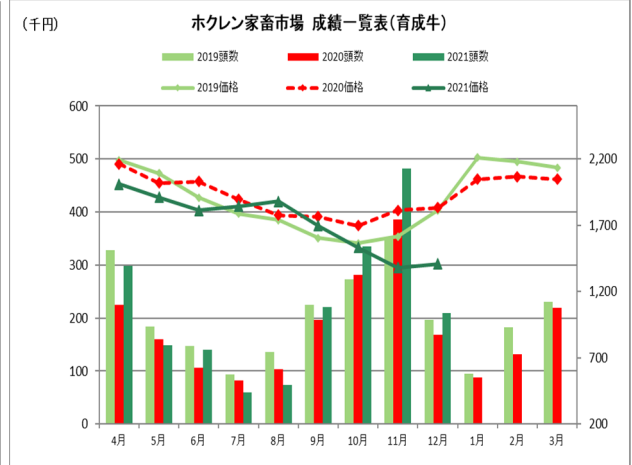
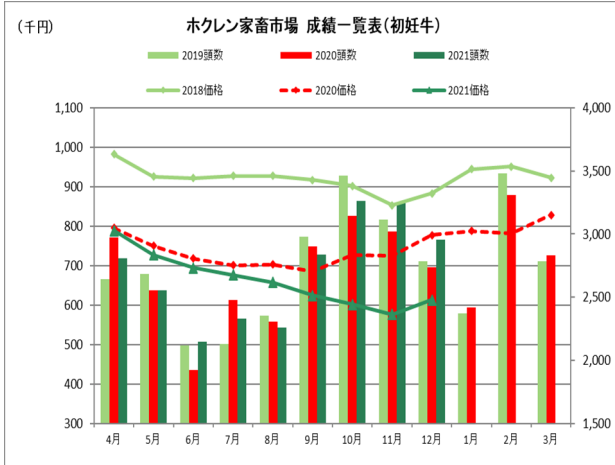
 : 前年比120%以上

※なお、下地の色が濃いほうが、上記範囲内で前年との増減差が大きいことを表す。

【家畜販売価格動向】

(1)12月の家畜販売価格動向について、ホクレン家畜市場集計によると、初妊牛価格は613千円(前年同期比78.8%)、育成牛価格は302千円(同74.0%)、和牛素牛(去勢)価格は820千円(同97.7%)、F1素牛(去勢)価格は400千円(同85.1%)、F1初生(雄)価格は165千円(同116.8%)。
 (2)上場頭数(出回り頭数)は、初妊牛:同108.1%、育成牛:同118.9%。また、和牛素牛(去勢):同103.6%は前年を上回ったが、F1素牛(去勢):同80.5%、F1初生(雄):同84.7%と前年を大きく下回った。

※ホクレン家畜市場集計表 速報値 (<https://www.kachiku.hokuren.or.jp/Downloadresult.aspx>)



※「2021年度生乳需要基盤確保事業 独立行政法人農畜産業振興機構 後援」